

MIC Ministry of Internal Affairs

平成 27 年 12 月 28 日消 防 庁

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等に対する意見募集

消防庁は、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等の内容について、平成27年12月29日から平成28年2月1日までの間、意見を募集します。

1 主な改正内容

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等は、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できない不具合が発生したこと等を受けて、当該消防用設備等の点検基準等を改正するものです。

|2 意見募集対象及び意見募集要領|

- 〇 意見募集対象
 - · 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の 様式の一部を改正する件(案) <告示>
 - ・ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件 (案) <告示>
 - ・ 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件(案) <告示>
- 意見募集要領の詳細については、別紙を御覧ください。

3 意見募集の期限

平成28年2月1日(月)(必着)(郵送についても、募集期間内の必着とします。)

4 今後の予定

皆様からお寄せ頂いた御意見を検討した上で、これらの告示を公布する予定です。





(事務連絡先)

消防庁予防課 五月女補佐、境 TEL 03-5253-7523(直通) FAX 03-5253-7533

意見募集要領

1 意見募集対象

- ・ 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の 様式の一部を改正する件(案)(新旧対照表)
- ・ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件 (案)(新旧対照表)
- ・ 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件(案)(新旧対照表)

2 資料入手方法

準備が整い次第、電子政府の総合窓口(e-Gov)(http://www.e-Gov.go.jp/)の「パブリックコメント」欄及び総務省ホームページ(http://www.soumu.go.jp/)の「報道資料」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布することとします。

3 意見の提出方法

下記(1)の場合は、意見提出フォームに郵便番号、氏名及び住所(法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)並びに連絡先(電話番号又は電子メールアドレス)を記載の上、意見提出期限までに提出してください。

下記(2)~(4)のいずれかの場合は、意見書(別紙様式)に氏名及び住所(法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)、並びに連絡先(電話番号又は電子メールアドレス)を明記の上、意見提出期限までに提出してください。

なお、御意見を正確に把握する必要があるため、電話等による御意見は御遠慮願います。また、提出意見は必ず日本語で記入してください。

(1) 電子政府の総合窓口「e-Gov」を利用する場合

電子政府の総合窓口「e-Gov」(http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public) の意見提出フォームからご提出ください。

なお、添付ファイルは利用できません。添付ファイルを送付する場合は、 (2) により提出してください。

(2) 電子メールを利用する場合

電子メールアドレス: yobo@soumu. go. jp

総務省消防庁予防課あて

- ※意見の提出を装ってウイルスメールが送付される事案を防ぐため、(1)の 電子政府の総合窓口(e-Gov)を極力ご利用いただきますよう、ご協力の程 よろしくお願いいたします。
- ※メールに直接意見を書き込んでいただきますようお願いします。添付ファイルを送付する場合、ファイル形式は、テキストファイル、マイクロソフト社 Word ファイル、ジャストシステム社一太郎ファイルにより提出してください(他のファイル形式とする場合は、担当までお問合せください。)。
- ※電子メールアドレスの受取可能最大容量は、メール本文等を含めて 10MB となっています。

(3) 郵送する場合

〒100-8927 東京都千代田区霞が関 2-1-2

総務省消防庁予防課あて

別途、意見の内容を保存した光ディスクを添えて提出いただくようお願い する場合があります。その場合の条件は次のとおりです。

- 〇ディスクの種類: CD R、CD RW、DVD-R 又は DVD-RW
- ○ファイル形式:テキストファイル、マイクロソフト社 Word ファイル又はジャストシステム社一太郎ファイル(他のファイル形式とする場合には、事前に担当者までお問い合わせください。)
- 〇ディスクには、提出者の氏名、提出日、ファイル名を記載してください。 なお、送付いただいたディスクについては、返却できませんのであらかじ め御了承ください。

(4) FAX を利用する場合

FAX 番号:03-5253-7533

総務省消防庁予防課あて

※連絡先窓口の担当に電話連絡後、送付してください。 なお、別途、電子データによる送付をお願いする場合があります。

4 意見提出期間

平成27年12月29日(火)から平成28年2月1日(月)まで(必着) ※郵送については、締切日の消印まで有効とします。

5 留意事項

- ・意見が1,000字を超える場合、その内容の要旨を添付してください。また、それぞれの意見には、当該意見の対象である命令等の案の名称、そのページ等を記載して下さい。
- ・提出された意見は、電子政府の総合窓口(e-Gov)及び総務省ホームページに掲載するほか、総務省消防庁予防課にて配布又は閲覧に供します。
- ・御記入いただいた氏名(法人又は団体にあっては、その名称並びに代表者及び連絡 担当者の氏名)、住所(所在地)、電話番号、電子メールアドレスは、提出意見の 内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために利用します。
- ・なお、提出された意見とともに、意見提出者名(法人又は団体にあってはその名称 及び代表者の氏名に限り、個人で意見提出された方の氏名は含みません。)を公表 する場合があります。法人又は団体にあっては、その名称及び代表者の氏名につい て、匿名を希望される場合には、その旨を記入してください(連絡担当者の氏名は 公表しません。)。
- ・意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめ御了承ください。
- ・意見提出期間の終了後に提出された意見、意見募集対象である命令等の案以外についての意見については、提出意見として取り扱わないことがありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・提出された意見は、結果の公示の際、必要に応じ整理・要約したものを公示することがあります。その場合には、提出された意見を連絡先窓口に備え付け、閲覧に供しますので、あらかじめ御了承ください。
- ・提出された意見を公示又は公にすることにより第三者の利益を害するおそれがあるとき、その他正当な理由があるときは、提出意見の全部又は一部を除いて公示又は公にすることがありますので、あらかじめ御了承ください。

6 連絡先窓口

総務省消防庁予防課

担 当:境 勝利

電 話:03-5253-7523

F A X:03-5253-7533

電子メールアドレス: yobo@soumu. go. jp

意見書

平成 年 月 日

総務省消防庁予防課 あて

郵 便 番 号: 〒
(ふりがな)
住 所:
(ふりがな)
氏名(注1):
電話番号:
電子メールアドレス:

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の 様式の一部を改正する件(案)等に関し、以下のとおり意見を提出いたします。

(以下に意見を記載する。別紙に記載する場合は「別紙に記載」と記載し、意見を記載した別紙を添付する。)

注1 法人又は団体にあっては、その名称及び代表者の氏名を記載すること。

注2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。別紙にはページ番号を記載すること。

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する 点検票の様式の一部を改正する件(案)等について

平成27年12月消防庁予防課

【改正理由】

平成22年9月に新潟県柏崎市で発生した火災において、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できないという事案が発生した。このことを踏まえ、一般財団法人日本消防設備安全センターにおいて「消防用設備等の経年劣化に対応した点検方法検討会」が開催され、平成26年9月に同センターから消防庁に対し、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁に係る点検の必要性等について提言がなされた。当該提言を受けて検討を進め、今般、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」(昭和50年消防庁告示第14号)、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」(昭和51年消防庁告示第9号)及び「消防用設備等試験結果報告書の様式」(平成元年消防庁告示第4号)を改正するものである。

1. 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様 式の一部を改正する件について

【改正内容】

ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準において、点検の対象に加圧用ガス容器等のバルブ類を追加する。

また、ハロゲン化物消火設備の点検の基準において、点検の対象に圧力上昇防止措置を追加する。

点検の基準の改正に伴い、消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を改 正する。

【経過措置】

- ① ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、施行日から起算して3年を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。
- ② ハロゲン化物消火設備の圧力上昇防止措置に係る消防用設備等点検結果報告書に 添付する点検票の様式については、施行日から起算して 6 か月を経過するまでの 間は、なお従前の例によることができることとする。

【施行期日】平成28年6月1日

2. 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件について

【改正内容】

容器弁に求められる機能として、手動により容易に開放できること等を明文化する。

【経過措置】

規定の明文化であるため設けない。

【施行期日】公布の日

3. 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件について

【改正内容】

消防用設備等試験結果報告書の様式に、ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に設ける容器弁のバルブ類の開放試験に係る項目を追加するとともに、所要の規定の整備を行う。

【経過措置】

ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に係る消防用設備等試験結果報告書の様式 については、施行日から起算して3年を経過するまでの間は、なお従前の例によること ができることとする。

【施行期日】平成28年6月1日

昭和五十年消防庁告示第十四号(消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式)の一部を改正する

件(案) 新旧対照表

0 昭和五十年消防庁告示第十四号(消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式)

(傍線部分は改正部分)

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。(略)	(ア)~(オ) (略) (<u>カ)</u> バルブ類	が容易にできること。 カ 加圧用ガス容器等	オーバルブ類変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作	2) 加工式パコクノ化物相欠利財威谷希寺 ア〜エ (略)	1 機器点検 次の事項について確認すること。	別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準	改正案
(力) (略)	(が)~(t) (略) (新設)	が容易にできること。 カ 加圧用ガス容器等	オ バルブ類 変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作	(4) 加压式(14) 人名罗伯代利斯威谷希宁	1 機器点検 次の事項について確認すること。	別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準	現

別表第8 0 (12)2 1 (13)~(19) (略) (3)~(11) (略) 4 # $\mathcal{F} \sim \mathcal{H}$ 次の事項について確認すること。 機器点検 (器) 圧力上昇防止措置 # 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等 (ア)~(対) (器) が容易にできること。 適正に設けられ、 (器) ベルブ類 加圧用ガス容器等 変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作 作が容易にできること。 (器) バルブ類 変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、 粉末消火設備の点検の基準 (器) (器) 機能が正常であること。 かり、 開閉操 別表第8 0 1 $(12) \sim (18)$ $(3) \sim (11)$ 2 (舞設) 次の事項について確認すること。 # K 4 7~H 機器点検 (器) (#) $(7)\sim (1)$ が容易にできること。 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等 (器) バルブ類 (新設) 加圧用ガス容器等 変形、損傷等がなく、 (器) 粉末消火設備の点検の基準 (器) (器) (器) (器) (器) 開閉位置が正常で、かつ、開閉操作

2	(3)	
(器)	$3) \sim (17)$	キ・ク
	(略)	(器)

キ・ノ (廃) (3)~(17) (略) 2 (略)

加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等 **善圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等** ハロゲン化物 (ハロン2402、1211、1301、HFC23、HFC227ea、FK-5-1-12) 消火設備点検票 別記様式第7 点檢者 点検種別 严 圧用ガス容器等 甘 放開 消 容開 锹 * 治門 怕 猝 00400-容開 撰 似 和ガ 振 模火谷 拔 技 この用館の大きさは、日本工業関格 A 4 とすること。 種型・学数等の40年間は、第当するものについて記入すること。 判定欄は、正常の場合は〇耳、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 単大阪のある棚は、該当事項に〇田を付すこと。 様式阪のある棚は、該当事項に〇田を付すこと。 採用のあるものは、(その5) に容器ごとの点検結果を記入すること。 財業 粉辫 アスを H 泗 資格 瘷 火タ 嘂 嘂 輲 当 採 辮 辦 衠 點 件間 # 圃 田路 华嗣 座々 # 坐 雖 华睴 暉 用用の状況を表め、形 屈 番号 外安外安外面刃 外安外電ガ ш 游 1 点所 点檢年月日 後属で会 種別・容量等の内容 学业 住所 性名 \mathbb{H})Ir 檢 進 Ш 涆 쏾 k $_{\stackrel{\square}{\sim}}$ (区 画 名:) (設備方式:全域・局所・移動) 立会者 防 火 管理者 # 畑 \mathbb{Z} # 棥 Œ 措置内容 Ш (その1) Ш **(4) (1)**

備考	¥.				器			支え	野ガ	齊		Ĥ	_		<u>₹</u>	٧ كيا	_		_	以按	Ė	FI }		7 :	ĭ	1		踏	極	工課 正語		Т	苍症 外	_	タンな	; II *	$\overline{}$	二 二 二								点検者		- 尽快福则	T-10-04-0	声		*		707
1 この用	計	圧力		開放装			女田被	>		點	*	П	ガス容	加用		<u>-</u>	XC.	E	E		×		展ソ	7	*		結管	쉬	/// dx	禁 拼	嘂		米	į	嘂	Ĭ	اء	旗谷	⊁			泗		1	氏名	щk	資格	竅	Į.	柏		*		くロケン代数(く
対の対象		週	_ 1	剛	#	_	叫		\vdash	₩	2	L	総	H	4		Ī	# =	†	Œ	^	L	V.	· } }	$\overline{}$			Ħ	þ	祖 -	#		頭	1	#	×	L	報	*			極具					*	*						1
なななななななない。	無	西縣	V	围 以 以			4		安全	*	>	1	# -]	囲用の	¥	ガス	無	*		Ã		変え、	ĮĮ.	1	周囲の	集	七	K	画図	7		7	"	*	: 连	表出	ļ	周囲の								坤	药	6M				ı	7.704.7
		船	Ŧ				が存			*	S Inte		11 3		苯		H H) (大	Ħ	华	late	殺屈	Ŕ	前	1	策	合管	팯	H		影。	(注)		金		i lanin	・京に		洋	:			ļ	<u> </u>	문	ilt		可加	_				大京派	1 7177
		ηlα			1		1		TTT	- 100	, pu	III A	13				_		-	TV	(paper		120	6					~						- ///		- 12	, (0		藤	種別・			1	属业	被参		- 保険年月 =					伯 八 政띎示使派	TOOL, III ODO,
4とするこ																																								北	容重等の内		Ot .		住所		社名	#	7					o' in operious
4 4 4 4											Þ	ŧ)QQ													L		Ħ	_			洒	⇒	l.	抜											007 111
4																																								蕪	世紀	=						Н						TN 0 1 12/
` -																																									>	- - - - -	#					\ \ \ \ \		立会者	II H	20 章 理火 光	(武温力式	
																																									Z W						TEL	Ħ	Ŧ				八. 田曼	
					Ī									Ī																												一計画						Д					· IG/EI/	ĺ
																																										置内容						п		(19)		⊞	/参則)	

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備(その3)

管 ・ 管 維 手	海光	型	卅		継	λí	_	井			(地)	(内震	电源	非常		囲	X	蠹	\$	ĬK	n Ot	校	\mathbb{H}	滥	狱		# 17	配金
管 維 手			爿	1	/	*	삵	蓉	Ⅲ	誻	充	師	搖	無	*		展型口配配	ł	×	75	₽		力	⊁		阐		景
管 維 手	の種料選指の規模を表現の	瓣		X		1			囲								部の強い		画	4		Œ	F	渔		科		
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	用・開抜力紙をはの登りまれる観りまれる機			4	\ \	K	ſ	246	(纀	趣	掛	4					_	1681		$\overline{}$	贵	Ш			_		>
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	大等正名におめる規模を表して	誰		#	X	Ų	1	<u> </u>	D	dit :	松子	松子	血血			ス圧で	気で作	7	797		7				XIT			11114
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	は200歳以 開始場がは 1個合該検		變	墨		1			关	אא	AIT	AIT	(mit)			作動す	動する		川			쉐			蔽			辮
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	1 本工注 1、該 1 〇年、 1 事項 1 等項	岡		弁	11	1/	К	雒	浙	続	圃	岡	Ħ	겎	形	5 to	360	悉	#	#	患	冶			蕨			#
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	業場を予りませる。これの表現の日本の人の自己の人の人の人の人の人の人とした。																											
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	A P P P P P P P P P P P P P P P P P P P																											
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	できた。 では、 でいた。 でいた。 でいた。						8																					
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	で に に に に に に に に に に に に に						P						_															
た。 大良内容欄にその内容を記入するこ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																											
容欄にその内容を記入すること。	から、大の、現代の、現代を表し、と																											
その内容を記入すること。	容																											
ない。	203																											
ि । । ।	内容を																											
ं (1 रू	記入す																											
	ر ار																											
	0																											
							•	•								•		•										

型	卅		継	λí	_	计			(港)	(玉嫄	馬源	非常	:	囲	X	20H	5	ì	Ī.	校	滥	辮	鬥	## T	門面	別品
旗	ボ灯・礁	×)	ホー)	本	格	周囲	結線	充 電	切替	離上	披	*		開口部の自動閉鎖装置		区画	¥2 //	> :	Œ	火 剤 等	置律	管の安全	支持金具	普	230013-473
措置	識 (移動式)	ル 開 閉 弁	ズル	スリール	7	納箱	の状況	按続	桜	横	重用	싓	悉	ガス圧で作動するもの	電気で作動するもの	外	変更等	放射障害	外 形	表 示 灯	排出措置	破壊板	安全装置	・・つり金具	管 継 手	
			`		m						V															

種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 判定欄は、正常の場合は〇年、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 避択肢のある欄は、該当事項に〇印を付すこと。 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

0 4 0

19 機 器 ・ 総 合 点検年月日 年 2	在	繊維・総	在	在	弁	種別	1		- 1			2 ====) TIE									-					П	Т			Т	Т															Т	
接 器 ・ 総 合 点検年月日 年 接 器 ・		器・総					4	11/4	- 1					*	3	1					並	XH	連着	380	7 1	H/TH	消	按	拔			- -	. >=	7	_	_		_	_				Т.		E	ŀ		連定
## 2		***					兹	氏名	- 1			\times			8	前			嘂		Ħι				_	- (⊁		E			į	ı						'		ŧ	技	^			milit	"	H-1
 総合 点極年月日 年 日田 の 次 没 種別・容異等の内容を		鄕							1			些	蜵	*	ł	4	圃	1	#	岡	₩.	F		_	_	_		Œ	#	暉	L			坳	H	8	聯	#	景	8			-	L	J		/FC	命.
中 合 点 液 年 月 日 年 年 日 2 次 次 液 光 性 1 日 4 年 2 次 次 液 光 性 1 2 次 次 液 光 性 1 2 次 次 液 光 性 1 2 次 次 液 素 器 点 点 次 次 2 2 次 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							777			-		,	. I.	2		州	} >>	敗至	4 組			4	集	Ħ	- 1 "	- 5	**		*		1	4	_	$\overline{}$	N.	\dashv	_	\dashv	Н	Н	_	_	1	7	蹦	- 1	₽,	≃ ⊢ ⊢
京祭年月日 年																₩	>	₩	ji)	X	٦.		□⊳		ħ	٠.				XI)	П	#	- 13	AH -	,	7		7		¥	- 1				概	₽	H .	業。
度月日 年 会 者 社名 会 者 住所 会 社 住所 機 解験の内容 機 解 点 が は の の の の の の の の の の の の の の の の の の		点検金				点檢金	h 3	1	Н	H	Í	贸易	/ 4		悉	弃	歩す	有步	步步	<u></u>	¥ >		鄉	É	* * *	祖 吳	Help (i	华	悉:	ዞ	対対	70 V	表 \$	∄L ≷	jab (步	亩	步	莊	悉	൰	4 >	ň シ	杰	왦	mji	祖:	
住所 住所 住所 日 日 日 日 日 日 日 日 日		田				Ш	1	NA		種別・	蘇																																					
・							*			松野山	鲱																																					
新 (本) (本) (本)								٠,	Or	が内容	ĝD _T										~	9																										
		併				併	-		蓹	.	٦		+	 	_	H	+		+	+	Z	-		+	+		δά		+	+	+	+	+	+	 	+	+	\dashv			+	+	+			+	+	
で、 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		Д				Д			814	尚智																																						
が	立会者		± ₹	\ \ \ \	\ \ \ \				無	KK																																						
	*	₹ _ i	±,	±,	±,					1 1																																						
年 TEI. TEI. 世 世 その内容を記入す		TH.				弁																																										
中 日 日 日 日 日 日 日 日 日							Ξ.		Н	***	$\frac{1}{1}$		+	+	_	H	+		+	_	+	+		+	+	+	\dashv		+	+	+	+	+	+	+	+	+	\dashv	Н		+	+	+			+	+	
で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									· I																				1							- 1				ΙI	- 1					- 1		- 1 1

			別 発 選 光 光 実 選 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光		
			立会者		
総合点検	年月日	年		年	Д
D _T	- 本			TEL	
	ŊÞ.				
П	種別・容量等の	当	—————————————————————————————————————	裕	措置内
囲の状		Ш			
· 生		*			
Þ					
H					
₩					
IX F					
. t		MPa			
,					
囲の分が					
川・西					
(全 (社)					
		99			
外患					
アスト					
田					
10 OF 10					
		₩			
₩					
₩					
学					
地域のアンス					
1404					
集合					
辦					
	日 国 / 表 女 安 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女	日 田 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	総合 点換年月日 年 月	1	を は 現

不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件(案) 新旧対照表

不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準(昭和五十一年消防庁告示第九号)

(傍線部分は改正部分)

0

二〜七 (略)	団 ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであるこ、輸送等の振動に耐えるものであること。四 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつまること。	第三 容器弁 常三 容器弁 おり開放できるもの又は手動により容易に開放できるものでは 常時閉止状態にあって、電気式、ガス圧式等の開放装置に おり開放できるもの又は手動により容易に開放できるもので より開放できるもの又は手動により容易に開放できるもので おり開放できるもの又は手動により容易に開放できるもので おり おしてい おり はい かい はい	改正案
二〜七 (略)	四 ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであるこ、輸送等の振動に耐えるものであること。 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつ	第三 容器弁の構造、材質及び機能は、次に定めるところによる。 一 構造、材質及び機能	現

				K	₩.		2	H H		15E	描			>					方式	放用	直場所	設品					
		起動月ガス容器	i i			別圧月ガス容器	[]]					継	贮藏容器					界	移動式			設置階					
大口ゲン化物消火設備試験結果報告書 1 1 1 1 1 1 1 1 1				ZH/II/II/A/	加圧田ポッ										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	新田旭川館		羷		全域放出方式							
設備試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施日 年 月 日 (2)	袎	構	貓	Ħ	種	全幾		貓	安全装	器	俗		蓄圧値				*	屈		1		防					ハロゲ
設備試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施日 年 月 日 (2)	器	描	所	К		· 俗		柜		開 放	器		(蓄圧式に限		- 瀬		渔	_		2世方式		攤	Ħ	住	試験実		でた物
種 別 相 別 Kg	华	#	##	脚	뺼	部件	器	徘	東坂坂		华	7	5.0	器	嬱	刑	#					潍	*		描档		肖人言
				kg									MPa				甲	別・容量等の内容				物の種				年 月	設備試験結果報告書
																		指账	sec .	sec						ш	

	L									1	ij		H		
								#	,,	NE NE	松	AN THE	械	自	
								#	test,	造	蕪			起動月ガ 7 谷界	
								华	所	貓		世 置	ジ		
	kg	_						脚	,	K	Ħ	UT/II/A/	È		Ř
								끨			產	なが田知山は	<u> </u>		翆
								器件	· 俗 贻	全装置	好鱼		_	川圧円ガス容器	
								銟	俗	Ħ	加	器	<u> </u>	1	3
								华	所	施		間	瓔		#
								被	·破壊板	全装置	安全				
								剛	票放装	器弁開	俗				ğ
								*	-41:	絽	俗	±1 17	1XK		細
								77	5	Н	光			444	
	МРа							5,)	(蕃圧式に限る		蓄圧値		••	贮藏容器	`
								銟	俗	凝	鬥				<u></u>
								襲	蓏	;	戕	(1) (2) (3) (4)	5		
					1			所	華	圃	型	計量場所等	45 100		
	kg			申	I-L		種別	华	剤		*	消	臧	PE J	
搭果		從	© 坯	皇等	松	重別・	種		ш	,,	屈	羷		跸	
sec	s					世時間	設計放出時間	7701						移動式	方式
sec	s					計時間	設計放出時間		方式	局所救出方式		全域放出方式	全域	固定式	放出
															置場所
			别	釐	0	麥	樂	丝	繼	趽				設置階	焽
	₽							₩	Ħ						
								所	Ĥ						
								南岩	試験実施者	팬					
ш	ш	Э	件		描田	試験実施日	立作								
					元 叶 叫	結果	備試験	当火設	化物浴	ハロゲン化物消火設備試験結果報告書	>				
⊖														別記様式第7	膃

 Θ

別記様式第7

												零		2	<u>u</u>		鷾			Þ													
		7.	F					5	<u>世</u>				11	機		-in	ALAC SIMB		11		辩		便	imi >-u	i i								跳
		バルブ類	mj\$					÷ Ż	世 色 計 間				X X	機器活品		珊	刺淡火機	四四	咖啡		1XK		(報	所 埋 	专	#				2	古		
州	П	華	華	四	釁			癥	щ		瓔		蘇	nin	戮		XIV		N _C		×	W-				設置場所等			DXC			14	
u1		411111			NP.			點			Ne.		25%		N-P				圃							掘			×	şe.	1	排 医 电 计 全 计	樑
	忩	福	1/2					#			岡		器						шш		# #	in in				华			草	6	4	H H	
₩	٠		n)	平	囲	曲	黨	恕	贵	#		華	地址	拠	囲	感	構	手動	貓	К	贵	35	徽	琐	깯	焽	縺	設	華	準	衆	뿿	
	使	•				1	高	A #	表示灯		貓	描	再生	機				•	2011			凝		扱	龠	硱	圃	圃		阐		暉	屈
拼	用		掛	郑	苯	動起	Im	Name	, ,	繪			微酮	X	並	油	造	自動	黑	`	쉐	NIT!	倒	XH	###	(m/p	(mlp	(m)n		接		шш	
	数	芝	F			勤切者	摐	描	7		刑	森	の設言	方				動切替	,	હ		誰		***	罴	과	位	羞		續		遊	
圃	華	絙	#	器	党	自動·手動起動切替装置	圃	圃	チ類	謔	华	語	音声再生装置の設置場所	片	圃	報	華	替装置	#	4	圴	圃	444	训	쉐	O.	圃	所	描	善	쉐	平	▥
lmla	শ্বন	Verrit	٧٦	ЦХ	C_	(AULD	lent	lmft	н	PAR	শ্বন	BB	77	CV	(-M/D	±N0	44	lmit	শান	,,	ľ	lmin	শ্বন	21,	211	'''	(m)s	7	IIII	15	211	4,	
																										床面							
																										床面からの高さ							種別
																										0 1							-
ı						11		1						lт				1								Ñ.				1			從
																																	半
1	'	'		'	'	'	'	'	'			'		'		'	'	'		'	'	1	'		1		'		'	1	'		# 0
																																	Æ
																																	俗
																										Ħ							
																																	搭果
_																																	7111

											Ř	m.		200).		Į.	bir			A												
											K			7		8		碓		7 辦		便		Ä	4							200
		門 育・					3	型 組 後 間				III,	機出 計 組		TELE	公子 治里	更更			ЖH	圃		西地		44					ΕÉ.		巽
		Į Į	-				Ž.	藍				Ŕ	ř		Quip.			г —		-		AH 4	- r	4					7	古		
								柚					46			癜		斝		73%	£				設置場所等					F) T		
П	華	蘇	門	翠			瘷			焽		蒸		型											海			138	裝	Į I	沙田山田 (4)	零
愆		作					素器					VI				Ne		圃			_				肥					300	前児	
	裕			١.			雅			圃		器				器	_			‡	16				71/1			#	指	4	B	
•		ΠÌ	剛	剛	III-	漸	72	表示灯	#		華	叫	鄭	圃	礇	雜	手動	A+-	К	表	37	锹	珙	嚣	翠	雰	羁	華	褦	裁	霽	
魚					4			北台		貓	尚	典					*	華											啷			屈
					·	単	摧	١.			Int	拼	機	_			⊞		7		籔		荥	瘇	逦	硱	睴				圃	
\equiv	华	漸	絩	关	起動			7	畲	严	•	置の		並	知	福	悪	뫳		쉐	l	倒							掖			
羧	4	F			自動·手動起動切替装置	拼	華	3		-31	弃	音声再生装置の設置場所	¥				動切替装置		٧		華		卅	卅	刑	Ħ	華		湾		並	
		x 10		٠	操			4	L'Me.			強語			*1=		辩		. 6	J.			J.,	J.,			7	۱.,		\ \.	Ţ	ш
#	舡	弁	路	Ä	Щ	岡	皿	쌆	謔	₩	部	學	붜	岡	器	#	岬	华	Ŧ	灯	岡	#	싓니	쉐	Nt.	岡	所	祁	빯	븼	把	
																									4							盾
																									床面からの高							
																									300							題
																									9							٠.
1				١,	١,	١,	1	١,			١,	١,	١,		١,	,	١,				١,	١,		١,	那のお	١, ١		١,	١,	١,		俗
																																畑
																																継
																																9
																																玉
																									B							松
																																搭果

- 3 -

ノ
П
4
~
$\stackrel{\sim}{\sim}$
*
2
1
(At
量
垂

ヘロゲン化物消火設備

			Ś	鄝		¥		캶		蒸	ŧ									穴		Ä		鷓		4.						
							作動試験								耐		イスン・			前				3 7 1 4	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4				yi S	最幸 シミズ		弹
		警報 装面	***				武験	制御装置			選択	容器弁員	圧力	135	躝	表示	構造	燛	非常	疤	温度(圧力.	消火	麗口	消火剤	消火剤を付加す	開口部	防	構造	数置	安	験
自動警幸	音声警報	車	警報鳴	起動装置に	試験	異常信号	自動・手動	音響警報/	非常停止	運 延	弁 作	開放装置の作	機機	攤	描	竹		圃	電源	用	低下防	上昇防	剤排	離の	一流 出 防	付加する	の自動閉	攤	•	位	₩	項
報作動状況	音声警報装置作動状況		動状	こよる作動状況	地格試験	短絡試験	自動・手動切替作動状況	音響警報先行作動状況	非常停止機構作動状況	畢	動試	の作動試験	間質	×		葆	南	位	の 種 5	曲	止措	止措言	出	白	上描	る開口部面積	鎖措置	M	帝	岡	辨	ш
25	児	甲	常	22	後	領	92	鬼	此	囲	験	御	験	画	叫	纀	部	囲	別 自家発育	瀬	岡	囲	圖	脚	岡	XIII	₩	画	部	報	胭	種
																			意設備・蓄電池語													別・容量
																			家発電設備·蓄電池設備·燃料電泡設備													等の内容
																			受備	V												結果

(ii)

ハロゲン化物消火設備

(4)

1	\$	零		□⟩		都			武験	機能		1
			試験	総合作動					THE POST OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SERVICE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN	作新計略		興
豐	學		方式	お式又は	全域放出			放出	消火	連動試験	附属装置	颗
		技出	音響	区画	这	更	選択手	##	剤	復一	作	展
7	報业	表示火	警報装	別貯蔵	铋	河	作動状			車	動	
<u></u>	作動状態無法	4.12 T	置作動物	容器開放	状	状	、況・放出	「 對	1	作状	抶	
Ž	· 完	1 22	大況	改数	況	況	経路	霽	频	況	況	
												種別・容量
												等の内
												俗
												浩 果
	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	移動式移動式移動式	放出表示灯点 附属装置作事 粉動式 移動式 移動式 存動	方式 音響警報装置作	総合作動 方式以 区画別貯蔵容器 方式 区画別貯蔵容器 方式 音響警報装置作 放出表示灯点	全域故田 気 密 状 方式又は 区画別貯蔵容器	通 気 状 全域放出 気 密 状 方式又は 区画別的藏容器 診験 方式 百響警報装置作 放出表示灯点 附属装置作重 移動式 移動式 移動式 作動	建族外代動状兒。花 通 気 状 通 気 状 全域放出 気 密 状 方式又は 区画別貯蔵容器 診験 方式 方式 放出表示灯点 放出表示灯点 附 馬 装置作重 移 動 式 移 動 式 作 動	放 出 表 示 灯 章 選邦弁作動状況 ガ 通 気 状 全岐放出 気 密 状 方式以出 区画別貯蔵容器 計数 方式 社 区画別貯蔵容器 対式 を動 式 作 動 表 移 動 式 作 動		速動試験 復 旧 操 作 描	(中動) (映 連動) (数 (担)

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。	

5 操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

掀

俞		零		斞	ΠŅ		都			實験	機能			
				門 厥	総合作動					THE CHANGE	水		弾	ハロゲン化物消火設備
	移動式			方式	ガスメは 両所抜出	全域放出			放出	消火	連動試験	附属装置	験	肖火設備
	蓉	睪	拔	神	X	鬞	涶	強	戕	劑	寅	帝	項	
	動式	属業	世表	警報	新別民	飶	IK	弁作	쉐	#	⊞	便	\mu_{1}	
	合	翢	카	装置	計蔵名	150	,-4	動状形	苎	Œ	薬	ij	_	
	動状	作動状況	放出表示灯点灯状况	響警報装置作動状況	画別貯蔵容器開放	共	状	選拆弁作動状況·放出経路	P	理	作状	共		
	況	77.	说	大況	放数	況	況	路路	樑	樑	Ä	Ä		
													種別・容量等の内容	
													搭 果	⊕

			聚	ļ.		¥			鐎			Þ					方式	放出	直場所	织							別言
		容器	加圧月ガス							贮藏容器等					严 藏	弄	移動式	固定式		設置階							別記様式第8
加土用以入	古八田よう		機器		費置				機器				[I] 	部間場所強	消	験		全域放出方式						핖帅			
Ħ	種	容器弁	裕	加圧	鈽	安全	光て) H	古刊斗		蓄圧式		表示	設置	*	項				37	氏 名	往男	P	試驗実施者		粉末消	
X		中開 放装	器	袎	柜	辨	2	定圧作動装置	貯蔵タ	容器弁開放装置	容器	貯 蔵 容	・	施	剤			局所放出方式		養牧	1	Я	7	ш∦		粉末消火設備試験結果報告書	
典	91	細	*	幸	継	圃	王	機圖	ンカ	が、世間	半	銟	兴	严	継					樂						颗 浩	
kg															種別 量 kg	種別・容量等の内容	設計放出時間	設計放出時間		物の種別	Ð				試験実施日 年 月	果報告書	
																幣	sec	sec							ш		\bigcirc

	kg	胂	Х	Ħ			
		焸		種	加圧用ガス		
		圃	弁 開 放 装	器盘		容器	
		*	器	谷	蒸器	加圧月ガス	零
		鄰	田谷	加			!
		华	所	貓	赞 置		
		圃	※ ※	安			¥
		五	スカ	充			
		雕	定圧作動装) 1			
		4	貯蔵タン	加压斗	蒸器		鷾
		叫	容器弁開放装置			貯蔵容器等	
		牛	容器	蓄圧式			
		銟	貯 蔵 容				\$
		鱳	- 瀬	表示	第 原 3 4		
		严	置場	設	等用場所等		
	種別 量 kg	华	剤	*	普	貯 蔵	
**	種別・容量等の内容		ш	展	験	弄	
sec	設計放出時間					移動式	方式
sec	設計放出時間		局所放出方式		全域放出方式	固定式	放出
							直場所
	物の種別	樂	護対	35		設置階	環
	臣		谷	Æ			
			刑	#			
			本	試驗実施者	판싸		
Ш	試驗実施日 年 月	刑师					
	報告書	稽 果	粉末消火設備試驗結果報告書	物末			
Θ						別記様式第8	밀

							1	零				3	#				剪	Ê				ÿ										物才
\ \ \ \ \	鬥			3	世				ni ±								Fi H	世 ^明							Ì				起ガン			粉末消火設備
77 7	聊			章 第 次 可	Ť				XX XX	Ť							型 按 回	ř							>				動容			設備
湽	•			ĮI	阻				Ţ	H							ĮI								4	₹			用器		尹	İ
삠	鬥			癜			茻		癜		翠	j	日装動	} }					主装動物	À A				X	葵	Z	ja H	1 X	ž.	災		İ
				嘂									H	İ					世	1							it H				霽	İ
哪	vt			#			珊		嘂				豐	į					豐	Ā				曹	16	4	Ħ	117	相	剛		İ
	珊	III-	滿	33	無	垂		華	嘭	嶼	圃	DX.	Ė.	型		73%	*				쌝			華	華	卅	羁	俗	華		州	i
熈		動・		we sale	小片		華	革	音声再生装置の設置場所	攃				脚							設置場所等				単					遊		İ
	洋	#	延	攤		金			一数	6	拉	前	E E	猫		計	18				华				接		圃	1111	沿		ш	İ
器		手動切替装	辦	菲	X	==	坚		一量の言	O	, ,	癜	華	31111	К	委	#	ఉ	取	焽	類	焽	顃				蛐	파	印件	平		İ
		蒋	A.1.		シチ			弃	量	方		知	描	퐈	<u>ب</u> پ	:JI	護措	①	扱表	備表	置高	置位	置場		続		9					İ
₩	況	MH MH	圃	睴	産産	謔	樂	1171 1171	揚所	洪	酣	影	#	华	7	八	圖	#	첫	쉐	OX.	置	新所	描	部	쉐	所	华	準	华		i
																					ま 面のら か面ま										種別・容量等	
					1						1					1					m			1							等の内容	
																															結果	10

第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第第	器	株	剛置		配管・バルブ類	
		整装	動・手	_ \			
		描描	超離離	器	癜		
		スイッチ類	表示灯・ス	A la		世 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ile.
		甲麟	制御				
		所 等	場	圌	型		Ś
		*	藩 造・				疁
		音声再生装置の設置場所	音声再生装置	器	癜	· 英 发 回	nii
		5 方 式	警報の	- 144		ŧ Ŧ	±
		置	拉	置	翠		
		感 知 器	13%		9		2
		構造等		起動	自装動		*
		易所等	設置場				
		スイッチ					
		表示灯	恢				
		防護措置		***		是数	憩
		塗 色 等			1	<u></u> ት	
		取扱表示		夢起動	半 報 曹		
		設備表示					
床面からの高さ m	無	設置高さ	設置場所等	Title			
		設置位置					Ÿ
		設置場所					·
		描	藩	#	À		
		姜 続 部	導管 接		432	* **	iii iii
		亦	拔		×	ŧ	W.
		揚所	費間	お田 品 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	背		
		量 弁	容器		10%		
		普 等	構造	異し	藤	起 動 用ガス容器	
		所 等	貓	暉	W.	į	-
別・容量等の内容	種り		項目	験		戦	
	1	Ì			ì	粉末消火設備	

		翠		Ž	THE		ā	*		藻	Ę						퓇			74			鷾			*				
						作動試験								耐		イスス・サース単		用			28 1 1	场里凸雕岩		"風烈"、"> "	品学〉 ミス		バルブ類	配管・		戰
			響	É			既緊	世渔装置		選択	※容器弁	容器弁	55	渊	表示	善	贸	非 常	純	消火剤	消火剤を	開口部	<i>t</i> 4	藩	数置	安	口径	構造	操 作	骤
作資	自動警	古書書	啉	警報	起動装	自動・	中華	非常停	革	弁 作	のバルブ	開放装置	羅	華	圴	• IUIT	酣	電源	用	当流出	と分加す	の自動	菱	•	量場	全	• 使	- HILL	嘶	ቯ
動 装 梅 作 共	脊報作動状	音声警報装置作動状況		鳴動状	起動装置による作動状況	自動・手動切替作動状況	音響警報先行作動狀況	止機構作動状況	20年	動試	*類の開放試験	の作動	M		· 標	弃	位	の種	絁	防止措	る開口部	閉鎖装	×	车	所	拼	用数	対	进止	ш
ž ži	状況	状況	胂	光	状況	状況	扶尧	状況	=	験	試験	試験	囲	圃	讖	- 120 120		90	頌	暉	面積	置 筝	画	777	华	置	筝	隺	*	
																		自家発電設備												種 別・
																		自家発電設備・蓄電値設備・燃料電値設備												容量等。
																		燃電域牆	V											の内容
																														11年

操 作 管 ・ 逆 止 字	大			ř	作状	蘇	≡	飯				
操 作 音 ・ 逆 止 字 種別・浴童等の 内容 操 作 音 ・ 逆 止 字 種別・浴童等の 内容 操 作 動	映			Ķ	朱	動			狱			
操 作 管 ・ 逆 止 字	「			光光	作動步	燕		₽				퓇
操 作 管 ・ 逆 止 字 一	映			犬況	置作動場	機嫌	地動	III				
操 作 管 ・ 逆 止 字 一	映			声					採	警覧		
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一	映			光		温	热					ᅫ
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一	大 映 項 日 日 日 日 日 日 日 日 日			状況	る作動	置によ	数機	西			T BUT HOUSE	
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一	大			状況	椿作動:	手動切	b	<u></u>			乔 弗 平縣	
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一	大			大況	丁作動	報先1	雌雌	叫	709	弹		岩
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一	映 作 管 ・ 逆 止 字			大況	善作動 物	上麥	部。	_	建業	<u>#</u>		
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一				畫	44	延		黨				
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・容重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	試験 項目 種別・容量等の内容 機 作 管 ・ 逆 止 字 一 機 作 管 ・ 逆 止 字 一 機 6 管 ・ 逆 止 字 一 力 径 ・ 使 用 数 等 一 力 径				痩	ø	11	放	华			藝
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字				零	巽	動	*	弁	択	癬		
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字 一				囲		M		擮		\$		
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	試験項目 種別・容量等の内容 操作管・逆止字 一 機作管・逆止字 一 投作管・逆用数等 日 径・使用数等 投 全 装 管 一 財 護 区 画 国 間口部の自動閉鎖装置等 区 画 消火剤を付加する開口部面積 一 指火剤が出防止措置 一 指火剤が出防止措置 一 投 置 額 の 種 別 自家の職場・諮詢販場・燃料砂銀橋 報 造 ・ 性 能 一 投 置 後 置 位 置 一 表 示 灯 ・ 標 数 一					岬	44		脚		录	
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・容重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	武			襲	蘇			苎	쉐	撰		
「	試 験 項 目 種別・容量等の内容 操 作 管 逆 上 学 構 造 使 用 数 等 口 発 使 用 数 等 投 宣 全 装 国 一 財 造 人 性 施 一 財 適 人 期 要 一 等 消 人 利 当 一 等 消 人 利 当 一 等 1 上 所 三 等 1 上 所 三 等 1 上 所 三 等 1 上 計 回 要 1 上 計 回 等 1 上 計 回 事 1 上 計 回 事 1 <th< td=""><td></td><td></td><td>計</td><td>潹</td><td></td><td></td><td></td><td>当</td><td>華</td><td>エエルス</td><td></td></th<>			計	潹				当	華	エエルス	
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	試験 項 目 種別・容量等の内容 操作管・逆止字 一 内径・砂 用数等 分 等 力径・砂 用数等 一 投 置 場 所 等 一 財 造 ・ 性 能 一 財 第 造 ・ 性 能 一 財 第 送 区 画 区 画 期口部の自動閉鎖装置等 区 画 消火剤を付加する開口部面積 一 消火剤を付加する開口部面積 一 消火剤を付加する開口部面積 一 消火剤が出防止がま場が過過機 水砂砂砂砂 (3) 日 第一級			硱		甘		稇		翠		蒙
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	試験 項目 操作管・逆止弁 構造・枝用数等 口径・使用数等 安全 装 置 設置場所等 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財務 財力額を付加する開口部面積 消火剤を付加する開口部面積 指火剤を付加する開口部面積 ボルカを付加する開口部面積	-	自家発電設備·蓄電域設備·燃料電域設備	別	種	9	戸	⊞	疤	уш 111		
操 作 管 ・ 逆 止 字 種別・谷重等の内容 操 作 管 ・ 逆 止 字	試験項目 種別・容量等の内容 操作管・遊止字 一 機作管・遊止字 一 力径・使用数等 一 設置場所等 財産 造・性・能 一 財務 造・性・能 一 財務 造・性・能 一 財務 造・性・能 一 財務 造・性・能 一 財務 造・性・能 一 財務 造・体・能 一 財務 造・ない 一 財力部の自動閉鎖装置等 一 消火剤を付加する関口部面積 一 (消火剤流出防止措置 一		V	源		曲		Ж		∃¢		
操 作 管 ・ 送 止 弁 一	試験 項 目 操作管・逆・片・質 ・ 一 お 造・枝 用 数 等 ・ 一 力 発・皮 井 数 等 一 投 音 場 所 等 ・ 一 設 置 場 所 等 ・ 一 お 造 ・ 性 能 ・ 一 お 造 ・ 性 能 ・ 一 お 造 ・ 性 能 ・ 一 お 造 区 画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			硱		75	Œ			盖		
「	試験 項目 種別・容量等の内容 操作管・逆止字 一 ・ 構造・材質 一 口径・使用数等 一 皮全装置 一 設置場所等 一 防護 区 関口部の自動閉鎖装置等 一			百積			1	付力	火剤を	消	と関する	
「	試験 項目 種別・容量等の内容 操作管・逆止弁 1 排造・材質 一 口径・使用数等 一 安全 発 置 場 所 等 1 財 置 場 所 等 1 財 造 ・性 能 1				拼				兴	噩	お ボーン ボース ボース ボース ボース ボース ボース ボース ボース	
T	 試験項目 機作管・逆止弁 材質 力発・使用数等 分全数 機質 			囲		×		撇		F		鷾
T	試験項目 種別・容量等の内容 操作管・遊止弁 一 ・ 構造・材質 口俗・使用数等 安全 装 質 設置場所等			部	怪				造	藩	世名・ハット	
T	談 版 項 目 種別・容量等の内容 操作管・逆止弁 構造・材質 力 径・使用数等 女全 装 置			*	所		雄		置	影	はいる。	
T	試験項目 種別・容量等の内容操作等・逆 ボ ギ構造・ 材質口 発・使用数等			圃		拼		₩		按		*
漢 景 長 日	試験項目 種別・容量等の内容 操作管・遊止弁			業	数	用	魚	٠	徭		ベルブ類	
業 名 部 ・ 海 二 中	鉄 験 項 目 種別・容量等の内容操 作 管 ・ 逆 止 弁 ―――			緷	艾				溢	維	m)i	
厥 貝 目 種別・谷重等の内谷	鉄 寮 項 目 種別·容量等の内容			#>	F	湗		啉	常	華		
	初本得久欽備	200	別・容量等の内			ш		五	験		巽	

備考1 淅 倉 聚 型中 箈 聚 機能試 粉末消火設備 総合作動 試験 |ω ιο 作動試験 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 選択肢のある欄は、該当する事項を〇印で囲むこと。
3 ※印の試験は、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」。
9号)に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができ 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。 操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。 結果の欄には、良否を記入すること。 H 金方周方域式所式 \mathbb{H} 校 新音 軍用 世 t 零 故又故出は出 H 作試 붜 動験 噩 Π 表 郯 附属装置作動状况 IK \Rightarrow # 放出表示灯点灯状况 音響警報装置作動状況 澎 垣 選択弁作動状況・放出系路 树 7 變 動 쉐 便 ¥ 狱 式作動 鹇 区 邳 H Ш 揪 圃 \mathcal{L} 脚 ≭ ≒ 彈 (sec) 罪 (MPa) 状況 邓 豫 完 完 礟 礟 櫯 里 桵 H # (昭和51年消防庁告示第 9 \mathbb{Z} 谷 結果 **(4)**

淅

備兆1 門 常 學 心 作動試 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。 結果の欄には、良否を記入すること。 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。 操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。 帝 型 霽 野 校 定装田田 170 \mathbb{H} u 专 1 作動 礟 力 Œ ſ 4 灩 11 表 数 膎 睪 放出表示灯点灯状况 音響警報装置作動狀況 滍 $\vec \Rightarrow$ 帝 選択弁作動状況・放出系路 屈 概 7 属装置作動状況 世 便 쉐 重 ¥ 袾 式作動 膨 鬞 畢 \mathbb{H} ш 批 격 硱 ш Ţ 圃 关 苯 浑 (sec) (MPa) Ħ 跸 完 完 Ë 霽 爾 零 徸 则·容 脚 # の内容 幣果

備

合武験

総

能試験

燕

粉末消火設備

(4)